冬号 No.40

十全ユリノキ病院ニュース●2019.1.30発行 《年4回発行》

こころ

あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。

十全ユリノキ病院

精神科応急入院指定病院

〈理念〉

一. 私達は、前向きで建設的に考えよう。
一. 私達は、開かれた医療を展開して行こう。
一. 私達は、自ら学び、研鑽し続けよう。

〈基本方針〉

1. 思いやりある、利用者中心の医療を目指す。
2. 過不足のない支援で、社会復帰を促進する。
3. 働き甲斐のある、職場を創り出す。

季節のしゃしん
「眩しい冬の朝日を
ふんだんに浴びながら」

相手の心が分かる心

理事長　太田純二

当院では地域との交流会を定期的に実施しています。その1つに、昨年11月に実施した新田保育園の園児さんと当院の患者さんとの「こころの交流会」があります。これは20年続いており、私も毎年楽しみにしています。交流会の挨拶で病院には身体を診る病院と心を診る病院があり、ユリノキ病院は心を診る病院です。ご飯を食べていれば身体は大きくなりますが、心はご飯を食べるだけでは成長しません。心の成長には【相手の心が分かる心】が必要となります。難しいことを言いました。家に帰って家族の人と話し合ってください、と話をしました。皆さんも考えてみてください。

とは言え、心に余裕がない時は、アドラーに従い「断る勇気」を持って、悩み多い人間関係を乗り越えて下さい。「より大きな共同体の声を聴け」ともアドラーは言っています。自分はこの共同体から一体何を期待されているのか？多くの場合、そこでの自己実現がその人の使命、やりがいになります。不思議なもので、心の持ち様により人は感じ方が変わってきます。自分の人生、人の評価に頼る必要はありません。あくまで自分がどの様に納得するかが重要だと思います。要は【吾唯足るを知る】という事なのでしょう。

年末は角野中学校の生徒さんが来院し、クリスマスの合唱を聞かせてくれました。その時は吉野源三郎という作家の話をしました。60年前『君たちはどう生きるか』を書いた作家です。昨年漫画版が出版され、私も漫画の方を読みました。自分で考えることの大切さを感じる一冊でした。人に言われた事をしている方が楽かもしれないが、どうしてこうしなければならないか？自分で考えて行動している人は臨機応変な対応ができる。大切なことは自分で考える習慣を付けてください、と挨拶しました。平素から「相手の心を考える」「自分で考える」を身に着けていれば、柔軟に対応することができます。

ホモサピエンスが人類として生き残れたのは、①夫婦という形態で子孫を残す様になり、オス同士の要らぬ闘いが無くなったから。②生殖期を過ぎても長生きして、所謂長老として知恵を言葉で伝え残せたから、と言われています。皆さんもホモサピエンスですから、【相手の心が分かる心】で現代社会をしなやかに生きてみませんか。

地域医療を支える 私の街のお医者さん紹介

いまなかクリニック

院長　今中　徹

平成21年4月に開院された、いまなかクリニック(整形外科、リウマチ科、内科)をご紹介します。

整形外科・リウマチ科では、骨折や靱帯損傷といった外傷をはじめ変形性膝関節症などの運動器疾患に対する治療を行っています。愛媛県東予地区では数少ない日本リウマチ学会専門医として関節リウマチの診断・治療に取り組まれており、中でも自宅での体操指導や生活指導に重点を置き、健康教室も定期的に開催しております。そうすることで症状の軽減を促し、他の治療法(薬・リハビリ・注射など)の効果を高めています。

内科では消化器疾患の治療を行っており、胃内視鏡検査は苦痛の少ない鼻から挿入するカメラを導入しています。また、血管の詰まりや、硬さが数分でわかる動脈硬化度検査も行っています。

それぞれの疾患に対する最新の考え方と、標準的治療法を提示し、患者さん個々の症状に沿った治療を提供しています。

今中徹先生より一言

平成21年に前身の渡辺医院を引き継いで開業し、今春で10年経ちます。

私は整形外科とリウマチ科を、副院長は内科を担当して、地域におけるかかりつけ医としての役割を果たすとともに、関節リウマチの治療にも力を注いでおります。

今後も、より一層信頼されるクリニックとなるよう職員一同努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

新居浜市高田1丁目1-3
TEL(0897)33-5388
整形外科・リウマチ科・内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～13:00	●	●	●	●	●	▲	休
14:30～18:00	●	●	●	休	●	休	休

※日曜・祭日、木曜午後、土曜午後は休診です。
※△土曜は内科は休診です。(整形外科・リウマチ科は診療しています。)

■ 所在地のご案内

■ 交通のご案内

JR新居浜駅より南　約5km
〈市内バス〉　山根グランドバス停より徒歩…… 約10分
〈タクシー〉　JR新居浜駅より…… 約10分
〈車〉　新居浜ICより西 約2km …… 約3分

2019・1・1000

VEGETABLE OIL INK　環境負荷を抑えた植物油インキと適切に管理された森林から生産された紙を使用しています。

編集後記

第40回目となる広報誌「こころ冬号」を発刊いたしました。

よき新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

当広報誌が今回で40号目、第1号を発刊し10年となりました。これもひとえに皆様のご支援によるものと深く感謝しております。これからも地域の方々に、より当院を理解していただける広報誌づくりに努めてまいります。

十全ユリノキ病院
Juzen Yurinoki Hospital
〒792-0844 愛媛県新居浜市角野新田町1-1-28
TEL0897-41-2222 FAX0897-41-2224
http://www.juzenhp.jp/
E-mail juzen@juzenhp.jp

関連施設

◎生活のしづらさをもつ患者さまの社会参加と社会復帰をお手伝いしています。
自立訓練(生活訓練・宿泊型訓練)事業所国領荘　愛媛県新居浜市角野新田町1-1-28　TEL0897-41-2258

◎単身生活が困難な患者さまの生きがいをもった自立への道を援助しています。
グループホーム船木の里　愛媛県新居浜市国領甲4819-5　TEL0897-41-2258

◎患者さまのご家庭に伺い、療養上のお世話・援護を行っています。
訪問看護ステーションれんげの会　愛媛県新居浜市角野新田町1-1-28　TEL0897-43-5653

◎生活に関する相談や福祉サービスの紹介などを行っています。
指定相談支援事業所まごころの会　愛媛県新居浜市角野新田町1-1-28　TEL0897-47-6682

◎お年寄りの生活にふさわしい環境の中で共同生活を行い、生活能力の回復と維持を図っています。
グループホームむつみの家　愛媛県新居浜市中萩町9-52　TEL0897-43-1022

交流会

平成30年11月22日㈭ 新田保育園さまとの交流会を開催しました！

当院外来ホールにて、41名の園児の皆さまによるバルーンと鳴子によるお遊戯をご披露いただきました！

元気いっぱいのお遊戯に、患者さん職員共に元気と笑顔をもらい、とても楽しい時間を過ごすことができました！ 新田保育園の皆さま、ありがとうございました！

クリスマス会

平成30年12月25日㈫ 角野中学校さまとのクリスマス会を開催しました！

当院外来ホールにて、合唱部の皆さまにはアカペラで素敵な歌声を、生徒会の皆さまには力あふれるダンスをご披露いただきました。

参加者全員でクリスマスソングの合唱も行い、心温まるひと時を過ごすことができました。角野中学校の皆さま、ありがとうございました！

愛媛県認知症疾患医療センター 十全ユリノキ病院からのお知らせ

「新居浜市第1回認知症講演会」

平成30年12月15日㈯、新居浜ウイメンズプラザにて、新居浜市地域包括支援センター主催「第１回認知症講演会」を開催し、市民、介護関係職員等270名近くの参加がありました。今回の研修は広く認知症への理解を深める目的と、認知症サポーターステップアップ講座を兼ねたものでした。

第１部では当センター長より「認知症について～今、知っておくべきこと～」と題し、認知症の代表的な疾患（アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症、アルコール関連認知症）についての講義が行われました。

第２部では、47歳の時に若年性認知症と診断された越智俊二様を16年間介護、看とられた妻 越智須美子様（福岡市）の「道しるべ～若年性認知症本人の想い、家族の思い～」と題した講演が行われました。

2010年に越智様ご夫婦を取材し放送された「NNNドキュメント」（最優秀ドキュメント賞受賞）を鑑賞後、当時の俊二様の様子や介護してきたご家族の気持ちをお話しされました。

俊二様は若年性認知症と診断された後、2004年NHK主催「ハートフォーラム」や、京都で開催された「国際アルツハイマー病協会国際会議」で自らの病気について自らの言葉で語られています。若年性認知症は65歳未満での発病であり、いわゆる“働き盛り”の現役のさなかに様々な支障を来していくこととなります。

俊二様も職場への道順や得意先との約束を忘れる等、トラブルが続き、職場で孤立していき52歳で早期退職をされました。退職後に若年性認知症と診断され、障害厚生年金を受給できなかった経緯もあり、現在須美子様は「同じように苦しむ家族をなくしたい」と受給資格の改正を求める署名活動に取り組まれています。

今回の講演会を通して、若年性認知症のご本人の想いやご家族の思いを直接聴く貴重な機会となり、改めて認知症についてより多くの方に知っていただく必要性を痛感しました。そして私達認知症疾患医療センターでも認知症への関心と理解を深めていく活動を行っていきます。

院内学会

平成30年10月27日㈯、第28回院内学会を開催しました。議題は看護部から３題、診療技術部から２題の発表がありました。高齢化が進んだ社会背景での題目が多くみられ、現在の日本の医療現場における、１つの大きな問題に視点をおいたものでした。

参加者からは大きな関心を集め、質疑応答の際には活発な意見交換が行われ、大変有意義な時間となりました。

第58回 角野校区文化祭

平成30年11月11日㈰　場所：角野公民館

今年度も『第58回 角野校区文化祭』が角野公民館にて開催され、角野校区の小学生をはじめとした校区住民の方の日頃の文化活動の成果が発表される中、焼きそば模擬店で参加させていただきました。

当日は天候にも恵まれ、焼きそばも完売し大盛況で終えることができました。

今後もこういった地域の方々と交流できる場を大切に、活動していきたいと思います。